

一〇〇人の物語

首都圏在住秋田人

本書内掲載「発行に寄せて」より

森田 貢

「HEBANANA」と手を振って
サヨナラするのは人好きた、希望と
不安の中で逃げるように秋田に別れを
告げた葛城君ならぬ、あの日の自分も、
もう少し好きになつてやろうと思えた。

寄稿の方々の宝箱から輝き出てくる
生き様。秋田の土地を知らない方でも、
その地域性風土性が目覚め、祖先への
命への出会いへの感謝に胸いっぱいになる
のではないのでしょうか！

浅利 香津代

秋田を離れもう何年経つだろう
ふるさとへの思いは尽きないが
こちらでの生活がずっと長くなつた
とにかく、無我夢中で生きてきた
汗と笑いと涙の人生
首都圏で暮らす秋田人
一〇〇人の生き様がここにある

序章・そして今…より



首都圏で力強く生きて来た、
ふるさとをこよなく愛する
秋田人たちの文集です。

企画・出版：秋田ひえばなの会（代表：田村輝夫）

編集・制作：秋田ひえばなの会

首都圏在住秋田人一〇〇人の物語 出版委員会

A5版 本文292頁（巻頭カラー10頁）

定価：[本体1,800円＋税]

ISBN978-4-9909850-0-4

・ 秋田ひえばなの会 ・
Circle of AKITA-HEBANANA

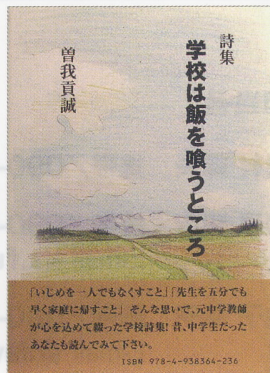


石谷 洋子
横手市出身 著
いろいろ

昭和27年～昭和33年頃、秋田県横手市の
小学生だった著者の回想録。北国秋田の
人間味溢れる時代を、四季を背景に描いて
います。

放送作家、日本脚本家連盟理事

B6版 定価：[本体1,000円＋税]

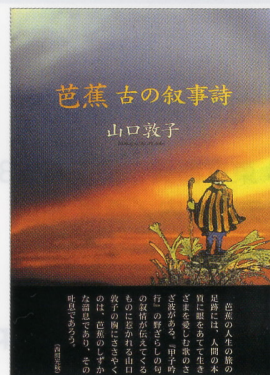


曾我 貢誠
河辺町出身 著
詩集 学校は飯を喰うところ

元中学教師の著者が心を込めて綴った、
学校生活満載の詩集です。かつて中学生
だったあなた、読んでみて下さい。きっと
昔の思い出が蘇ります。

日本詩人クラブ、日本ペンクラブ所属

A5版 定価：[本体1,500円＋税]



山口 敦子
阿仁町出身 著
芭蕉 古の叙事詩

松尾芭蕉の句に、著者の詩を添えて編ま
れている詩集。故郷秋田での若き日の思
い出、現在に至る迄の多くの体験を芭蕉
の句に寄り添い語っています。

野口雨情会、日本詩人クラブ所属

A5版 定価：[本体2,000円＋税]

「首都圏在住秋田人一〇〇人の物語」
仲間たちの本

「首都圏在住秋田人一〇〇人の物語」及び「仲間たちの本」の購読ご希望の方は裏面をご参照ください。